

資料3

厚労科研シンポジウム「国民のニーズに応える薬剤師の専門性のあり方に関する調査研究」アンケート

シンポジウム「国民のニーズに応える薬剤師の専門性のあり方に関する調査研究」にご参加ありがとうございました。本シンポジウムに参加された皆様を対象に無記名のアンケート調査を実施いたします。アンケート結果は、今後の研究班の活動に活かしたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

Q1.あなたの所属について、当てはまるものをお選びください。

- 病院
- 薬局
- 大学
- 行政
- 企業
- 学生
- その他 [自由記載]

Q2.あなたの年齢について、当てはまるものをお選びください。

- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代以上

Q3.あなたは何らかの領域別認定・専門薬剤師をお持ちですか？

- はい
- いいえ

Q4.Q3の質問で「はい」を選んだ方にお伺いします。お持ちの領域別認定・専門薬剤師のうち、当てはまるものを以下から選んでください（複数選択可）。

- 研修認定薬剤師（日本薬剤師研修センター）
- JPALS 認定薬剤師（日本薬剤師会）
- 日病薬病院薬学認定薬剤師（日本病院薬剤師会）
- がん薬物療法認定あるいは専門薬剤師（日本病院薬剤師会）
- 感染制御認定あるいは専門薬剤師（日本病院薬剤師会）
- HIV 感染症薬物療法認定あるいは専門薬剤師（日本病院薬剤師会）
- 精神科薬物療法認定あるいは専門薬剤師（日本病院薬剤師会）
- 妊婦・授乳婦薬物療法認定あるいは専門薬剤師（日本病院薬剤師会）

- 医療薬学専門薬剤師（日本医療薬学会）
- がん専門薬剤師（日本医療薬学会）
- 薬物療法専門薬剤師（日本医療薬学会）
- 外来がん治療認定あるいは専門薬剤師（日本臨床腫瘍薬学会）
- その他〔自由記載〕

Q5. 研究班では、今後の専門薬剤師のあるべき姿などについて以下のように考えております。
回答者のご意見として該当するものを選択してください。

①専門薬剤師のベースとなるジェネラルな薬剤師として、過渡的には薬剤師認定制度認証機構（CPC）の生涯研修認定薬剤師（G）あるいは特定領域認定薬剤師（P）が利用可能であるが、将来的には試験等を用いた質の評価が必要である。

- 特に意見なし
- 意見あり（意見：〔自由記載〕 _____)

②専門薬剤師の研修として、On the Job トレーニングを基本とするが、専門薬剤師として必要な研修カリキュラムを作成し、項目毎に指導薬剤師の評価を受けることが望ましい。その際に、評価シートや研修手帳の利用も有効である。自施設に指導薬剤師が不在である場合や、自施設で研修できない項目がある際には、地域や学会等と連携のもと、他施設での研修や指導薬剤師の定期的な指導を受けることが望ましい。

- 特に意見なし
- 意見あり（意見：〔自由記載〕 _____)

③専門薬剤師に至るには、卒後5年以上の実務経験は必要で、そのうち3年以上は専門領域の研修に充てることが望ましい。

- 特に意見なし
- 意見あり（意見：〔自由記載〕 _____)

④専門薬剤師にも一定レベルの研究活動実績が必要であり、要件として専門領域に係る学会発表2回（うち1回筆頭発表者）あるいは査読のある筆頭論文1編を目安とする。

- 特に意見なし
- 意見あり（意見：〔自由記載〕 _____)

⑤国民や他の医療職から信頼を得るには、専門薬剤師についても各学会や団体とは別の第三者評価機関による認証を受けることが必須である。第三者評価機関としては、既存のCPCあるいは新規の機構を立ち上げることが想定されるが、いずれの場合でも薬剤師の自律のもと国民にとって分かりやすいものであるべきである。

- 特に意見なし

意見あり（意見：[自由記載])

⑥第三者評価機関が薬剤師の専門性の認証を開始した際には、医療法や薬機法における専門性の標榜要件と連動させていくことが望ましく、研修の年限についても他の職種とあわせて3年以上の研修としていくことが望ましい。

特に意見なし

意見あり（意見：[自由記載])

⑦薬剤師が専門性を目指す意義は、国民に質の高い医療を提供するためであるが、専門薬剤師に対する給与等の待遇とともに、診療報酬や調剤報酬上の優遇措置も必要である。

特に意見なし

意見あり（意見：[自由記載])

⑧薬剤師の専門性が必要な領域については、社会のニーズや医療政策、専門性を持った薬剤師の活動実態を勘案しながら決定していくべきもので、諸外国の専門薬剤師や国内の他の医療職の動向も参考にすることが望ましい。

特に意見なし

意見あり（意見：[自由記載])

⑨薬剤師のキャリアパスを考えた際に、医師のように全ての薬剤師が特定領域の専門薬剤師を目指すものではない。薬剤師の基本は薬物療法の各領域に対してジェネラリストであることで、専門薬剤師の取得の有無に関わらず、生涯にわたって学び続ける姿勢が必要不可欠である。

特に意見なし

意見あり（意見：[自由記載])

⑩質の高い薬剤師の養成は社会のニーズであり、卒前・卒後教育、生涯研鑽、専門薬剤師の養成、臨床系教員の臨床能力の維持など体系的な教育体制の整備が重要で、職能団体や学会とともに、地域における大学役割は重要である。

特に意見なし

意見あり（意見：[自由記載])

Q6.その他、専門薬剤師制度についてご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

[自由記載]